

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課

担当課長名：街路課長 松谷春敏

事業名	福井駅付近連続立体交差事業			事業区分	街路	事業主体	福井県
起終点	自：福井県福井市みのり1丁目 至：福井県福井市開発町					延長	6.0km
事業概要	本事業は、福井駅付近のJR北陸線3.3km、えちぜん鉄道勝山永平寺線2.0km、えちぜん鉄道三国芦原線0.7kmにおける5カ所の踏切を除去し、鉄道を横断するための交差道路27路線を整備することによって、東西交通の円滑化、東西市街地の均衡ある発展を図り、活力とるおいのある県都を創造するものである。						
S63年度着工準備	H2年度都市計画決定 (H-年度変更)		H4年度用地着手		H8年度工事着手		
全体事業費	約583億円	事業歩率	86.4%	供用済延長	3.3km		
計画交通量	踏切交通遮断量65,657~113,556台時/日						
費用対効果分析結果	B/C (継続) 1.4 (廃業) 6.7	総費用 (継続)/(継続) 73 / 718億円 事業費: 64 / 663億円 継続整備費: 9.0 / 55億円	総便益 (継続)/(継続) 488 / 1,027億円 機能増強便益: 479 / 987億円 走り便益: 8.6 / 38億円 交通便益: 0.00 / 1.9億円	基準年	平成18年		
事業の効果等	・円滑なモビリティの確保（ボトルネック踏切の除去） ・国土・地域ネットワークの構築（交通不能区間を解消） ・歩行者・自転車のための生活空間の形成（通行の快適・安全性の向上）						
関係する地方公共団体等の意見	本事業は、東西交通の円滑化、東西市街地の均衡ある発展、踏切事故の解消が期待されており、福井市および地元自治会、福井駅周辺整備鉄道高架化事業促進期成同盟会は、早期完成を強く要望している。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	JR北陸線の踏切を除去した結果、踏切通過時間の短縮等、交通流の改善が見られる。しかし、えちぜん鉄道には、ボトルネック踏切があり交通渋滞が起きている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成17年度にJR北陸線について約3.3kmを供用している。今後は、えちぜん鉄道についても、踏切除去を進める。						
事業の進捗が滞る理由、今後の事業の見通し等	えちぜん鉄道の高架化について、新幹線開業の際に大きな手戻りが生じないようにするために、新幹線福井駅乗入れ構造形式等、および将来えちぜん鉄道が並行在来線に乗入れる位置および構造などの課題について、関係機関と多岐に渡り技術的な検討を行う必要があり、協議に時間を要している。今後は、新幹線福井駅部工事の進捗も踏まえ大きな遅れが生じないように、取り組んでいく予定。						
施設等の構造や工法の変更等	えちぜん鉄道においては、JR高架で使用したレールおよびバラストを再利用することでコスト削減を図っていく。						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。